

## レーダー級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義である。 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局」とは、無線設備及び  の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。

1. 無線設備の操作を行う者
2. 無線局を運用する者
3. 無線通信を行う者
4. 無線設備の所有者

〔2〕 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

1. 10年
2. 2年
3. 3年
4. 5年

〔3〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が告示するものを除く。）は、電源電圧が定格電圧の（±）何パーセント以内において変動した場合においても安定に動作するものでなければならないか。無線設備規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

1. 2パーセント以内
2. 5パーセント以内
3. 10パーセント以内
4. 20パーセント以内

〔4〕 無線従事者がその免許証を返納しなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 無線設備の操作を5年以上行わなかったとき。
2. 無線通信の業務に従事することを停止されたとき。
3. 無線従事者の免許の取消しを受けたとき。
4. 無線従事者の免許を受けてから5年を経過したとき。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、その免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

1. 携帯する。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。

〔6〕 次の記述は、レーダー級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことのできる無線設備の操作の範囲を述べたものである。電波法施行令の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局のレーダーの外部の転換装置で  に影響を及ぼさないものの技術操作」

1. 機能
2. 電波の質
3. 機器の性能
4. 空中線電力

# レーダー級海上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□□ に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 特定の相手方
2. すべての相手方
3. すべての無線局
4. 総務大臣が告示する無線局

〔8〕 無線局の臨時検査（電波法第73条第4項の検査）が行われることがあるのはどのような場合か。次のうちから選べ。

1. 無線局の再免許が与えられたとき。
2. 臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。
3. 無線設備の変更の工事を行ったとき。
4. 無線従事者選解任届を提出したとき。

〔9〕 無線航行移動局に備え付けておかなければならない書類はどれか。次のうちから選べ。

1. 海上移動業務で使用する便覧
2. 無線測位局の局名録
3. 無線従事者選解任届の写し
4. 免許状

〔10〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどのような場合か。次のうちから選べ。

1. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に基づく処分に違反したとき。
4. 免許証を失ったとき。

〔11〕 無線局の免許人であった者がその免許状を1箇月以内に返納しなければならないのはどのような場合か。次のうちから選べ。

1. 免許がその効力を失ったとき。
2. 免許状を破損し、又は汚したとき。
3. 無線局の運用を休止したとき。
4. 無線局の運用の停止を命じられたとき。

〔12〕 無線局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 船内の適当な箇所
2. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 航海船橋の適当な箇所